



公共交通の 充実を図る

わたしは、「県都前橋の再生」を図るため、「元気で楽しい前橋」づくりに全力を挙げておりますが、具体的な将来都市像として、市民の皆さんが健康で生き生きと暮らせる社会を築いていこうとする「生命都市いきいき前橋」構想を掲げています。

市民生活に密接なつながりがある公共交通は、市民の皆さんが元気に充実した生活を送っていただくための大切な都市基盤です。とりわけ、今後高齢社会が一層進むにつれて、自動車を運転できない高齢者の大切な移動手段である路線バスが担う役割は、ますます重要度を増していくものと思います。

本市では、平成14年度から「マイバス」を運行していますが、4年が経過する中で、市民の皆さんからは運行経路や時間など、さまざまな要望が寄せられております。

「マイバス」は市民参加型のコミュニティバスであることから、利用者のこうした要望や意見に十分耳を傾け、「マイバス」の充実と発展をより一層図ってまいりたいと考えております。
(第1回前橋市路線バス検討委員会 6月14日 市役所)

ふれあい広場

まえばし シティフラッシュ



六月十四日、市有バスに乗って訪れる「文学碑めぐり」が行われました。前橋こども公園では、園内に点在する本市ゆかりの詩人、歌人らの碑を見学。講師のユーモアを交えた解説に、参加者は楽しく文学の世界に浸っていました。

文学碑を市有バスで見学



身近な環境考える

市役所1階市民ロビーで6月4日から16日まで環境月間パネル展が開かれました。身近な温暖化対策やグリーン購入などについて、写真やイラストで分かりやすく紹介。訪れた人もしばし足を止めて、見入っていました。

食品の安全を学ぶ

3回シリーズで「くらしのセミナー」が6月12日から27日まで前橋テルサで開かれました。初回の6月12日は食の安全と食品表示がテーマ。輸入農産物や農薬の安全性などの内容に、参加者は食生活について理解を深めました。



本庁管内

梅雨に負けず ミニ運動会

文京町二丁目のミニ運動会が、六月十八日に文二ふれあい公園で行われました。今年から内容を新しくした三世代交流行事。小雨模様の中、幼児からお年寄りまで百五十人が参加し、缶投げゲームやスプリンレース、グラウンドゴルフなどを楽しみました。空き缶を拾って走る缶拾いゲームは、遊びながら環境保全を身に付けることも目的。
岩佐康一郎自治会長は「この公園はみんなで月二回清掃しています。行事もふれあいを大切に開催していきたいですね」と話していました。



出前講座で 防犯防災学ぶ

粕川地区



六月十三日、粕川町込皆戸では同町集会所で防犯と防災をテーマに出前講座を実施。市職員などが講師を務めるもので、五十人が参加しました。防犯では近所起きた事件を例に、犯行手口とその対策を紹介。実演で防犯対策の窓ガラスがあつという間に割られ鍵が開けられると、思わず感心する声も。
坂本実自治会長は「悪いニュースが多いので、住民の防犯・防災に対する意識を高めようと出前講座を利用しました。万一のときに役立てたいですね」と話していました。

自分で命中数も分からずに

六月十日・十一日の二日間、本市で開催された「県高校弓道大会」個人女子で優勝。こ



全国高校弓道大会県予選で優勝

石井 里実さん(16)
元総社町

り、みごとインターハイ出場の切符を手にした。
「個人女子決勝に残ったのは九人。結果は八射中六射を命中させることができたが、競技中は常に目の前の的に集中していたので、いくつ当たったか自分でも分かっていなくて。優勝したと聞いたときは、信じられない気持ちでした」
現在、市立前橋の二年生。入学時に弓道部へ入るまでは全く経験がなかった。
「中学では剣道をやっていましたが、違う武道に挑戦したくて始めたんです。いつも

同じように弓を引くことがなかなかできず、ちよつとしたことでの当たらなくなってしまう。毎日、学校の道場で三、四時間は稽古していますが難しいですね」
授業は日本史が好きで、歴史の本もよく読むという。
「昔のことを勉強することも好きですが、子どもが好きだから高校卒業後は保育関連の学校へ進学したいという気持ちもあります。でも、進路はまだ決められませんね」
スポーツや学業に全力で取り組み、悔いのない青春を送ってほしい。